



Q_o 岡義博法律事務所報 第46号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階

TEL (087) 821-1300

FAX (087) 821-1833

MAIL oka-law@kln.ne.jp

H P <http://www.kln.ne.jp/oka-law/>

あせり

所長 弁護士 岡 義博

STAP細胞が揺れている。細胞を弱酸性の溶液に入れ刺激を与えるだけで細胞を初期化し、受精卵の状態に戻すことができるという。STAP細胞は様々な組織細胞に成長できるということで、生物学の定説を覆す世紀の大発見のはずだった。それが、発表された論文のずさんさで、STAP細胞の存在そのものが揺らいでいる。

今回の論文を理化学研究所が調査した。今回の論文と研究リーダー小保方氏の博士論文の画像が酷似している点については捏造と判断した。この画像はSTAP細胞が様々な細胞に変化することを示す根拠となる重要な画像だ。そこで単純なミスとは認めなかった。また、画像が加工されている点も改ざんと判断された。この画像は血液細胞のリンパ球からSTAP細胞ができたことを示す根拠となるものだ。その画像に手を加えることは科学的手順を踏んでおらず改ざんとされた。

事前に十分なチェックがなされず、このようなずさんな論文が発表されてしまった原因としては、4チームの14人が研究に当たっていたことが挙げられている。チームの間の連携が不備で、他チームの実験結果の正確性の確認ができていなかったというのである。各チームの責任者が相互に他チームの実験結果

をチェックしていればこのような事態にはならなかったというのである。しかし、相互の実験の結果の確認をしていなかった事自体が驚きである。十分な検証をせずに世紀の大論文を発表したということが驚きである。理化学研究所は国から多額の研究費をもらい日本の科学研究の最先端をいく機関のはずである。それがこの状況では日本の科学に対する世界の信頼も揺らぐというものである。

しかし、今回の件はさらに根本的な所に原因があるのではないだろうか。国から特別に研究費の優遇を受ける「特定国立研究開発法人」の指定を受けるため、成果を上げるプレッシャーを感じていたのではないか。文科省からは無言のうちに成果を上げるよう迫られていたのではないか。このような成果主義が行き過ぎると当事者にあせりを生み、十分な検証もないまま、成果を上げましたというずさんな発表をしてしまうことになるのではないか。科学の世界に限らず、補助金を出しているから成果を上げよと押しつけるのは誤りである。

金をつぎ込んでも成果は上がらない。それでも研究などを地道に続けていく必要のある分野はたくさんあるのである。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis ...ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

身近な法律シリーズ (46) 秘密保護法

秘密保護法が昨年12月に成立した。正確には特定秘密の保護に関する法律という。秘密保護に関しては国家公務員法や地方公務員法などがある。新たに秘密を保護する必要があるのか。疑問の声は多い。

問題点として秘密の範囲が不明確といわれている。特定秘密とは、行政機関の長が法の別表に掲げる事項に関する情報であって公になっていないもののうちその漏えいが我が国の安全保障に著しい支障を与えるおそれがあるため、特に秘匿することが必要であると指定したものとされる(法3条)。の別表は防衛、外交、特定有害活動の防止、テロリズムの防止の4つに関する事項とされている。「特定有害活動」と「テロリズム」の定義は法12条にあるが長いので割愛する。要するに国や国民の安全に関わるものが広く含まれている。このような広範な情報について、その漏えいが我が国の安全保障に著しい支障を与える「おそれ」があるため、特に秘匿することが「必要」であるものが指定される点が問題ということである。行政機関の長が「おそれ」があると考え、秘匿が「必要」と考えれば、秘密の指定ができることが問題と

されているのである。秘密の範囲が不明確で秘密が拡大していくのではないかということである。

第2の問題として秘密の指定期間が際限なく長くなるのではないかという点である。指定の有効期間は5年を超えない範囲とされている。しかし、行政機関の長は5年を超えない範囲で延長できるとされている。そして、指定期間は通じて30年を超えることができない。但し、30年を超えて指定できる場合がある。その場合でも60年を超えることはできないとされているが、一定の場合は60年を超えることが許されている。60年を超えることができる事項は広範であり、運用によって多数の情報が60年を超えて国民の目に触れないことになる。

情報公開は民主主義社会においては根本的な要請である。国家機関の行動を国民の批判にさらすことによってより良い国を作ることが、民主主義の根幹である。その意味で、為政者にとって不都合な情報を国民の目から隠すという法律は重大な問題を含んでいるということである。続きは次号で。

高松ウオッチング

事務局 E・O

東京にいる次女が、赤ちゃんを連れて新幹線で帰省してきた(飛行機か、新幹線か二人で悩んだ)。長時間に耐えられるか? 移動は大丈夫か? 何かあったらいけないからと、後ろの車両、入り口に近い指定席を確保。乗り換えが大変だろうからと私は岡山駅まで車で迎えに行った。海をこえ瀬戸大橋を渡って。

いや～。赤ちゃんというのはなんとも可愛い。それが猫の赤ちゃんでも!

岡家のペットたちはなぜかお菓子の名前。

パピコ(犬)はアイス、オレオ(猫)はクッキー(名付け親たちは何か考えてるのか!)

このパピコとオレオを仲良くさせようとして

もたちと画策して、二匹を近づけた。

両者じいーっと距離を置いて互いを観察。しかし、パピコがちょっとでも動こうものなら、オレオは新米でちびのくせに背中をたて「シャー!」威嚇する。これが結構怖い!

いつもは元気いっぱい飛びはねるパピコはストレスでおなかをこわすために。

優しい長男が「もういいよー。やめよー」将来、孫ができたら、大～変。

そしてオレオは東京へ帰って行った。当然帰りも岡山駅まで送って行った。



八十八ヶ所巡り

その10

60番横峰寺。石鎚山の中腹750mほどの所にあるお寺。石鎚山は西日本最高峰で1982mある。昔から山岳信仰の霊場であった。以前には歩いて山を登り参拝していたため、遍路ころがしの1つと言われていた。昭和59年に林道が開通して車で参拝できるようになった。舗装道路から標識(ナビ)に従って横道に入るとすぐ乗り合いバスの乗降場に出る。ここから山道に入り少し進むと料金所がある。料金は1800円。ここから林道をおよそ4km走る。道は狭いが車の行き違いができないほどではない。林道を上りきった所に駐車場がある。駐車場は広い。売店もある。駐車場へ行くまでに車とすれ違うことはほとんどない。しかし、5回参拝したうち2回ほど、材木を満載したダンプカーと遭遇した。こちらが山道を上がっていたら、突然上からダンプカーが下りてきた。カーブの膨らんだ所まで当方がバックしたり、ダンプにバックしてもらったりして行き違いした。八十八ヶ所巡りには小さい車で走っているのだからこういう時には好都合だ。大きい車だと難儀していた所である。

こういう危ういことを避けるなら乗り合いバスを使う手もあるが、乗り合いバスの料金はおひとり1700円です。

駐車場からお寺までは歩いて少し下りる格好になる。歩いて7~8分かかる。途中の道は静かで段々癒やかな感じになってくる。駐車場の方

から行くと、まず大師堂がある。大師堂は宝形造と言われる建物である。大師堂の対面の所に本堂がある。本堂は権現造りという建物で神社風のものである。

開基は白雉2年。役行者小角が蔵王権現の像を本堂に安置したとされている。そのため権現造りの本堂なのかもしれない。ちなみに白雉2年は西暦651年である。その後、天平年間(729~748年)に行基菩薩が大日如来を刻み、さらに弘法大師が大同年間(806~810年)に大日如来を刻んだと言われている。そこで、ご本尊は大日如来である。



納経所は本堂横の階段を少し下りた所にある。納経所から少し行った所に山門がある。本来は山門から入るべきもので、駐車場から行く道は、裏道ということになる。歩いて山門に至る道は急な坂道で、遍路ころがしを実感できる道である。

坂道で ダンプをかわす 寺の峰 (Y.O.)



ちょっとひといき

事務局 K・K

昨年の夏、入院をした。

大病でもないせい、自動的に6人部屋にまわされた。

病室は、明るい木目のユニット家具が備え付けられ、シャワー室も新しく、過ごしやすかった。ただ、相部屋には変わらない為、周りの音はそのまま筒抜け。

入院してすぐは、おばあちゃんばかりに囲まれて、私は高齢者の仲間?とっていると「子供に見捨てられたから退院したら施設に入るんや。」と切なくなる会話が聞こえてきた。結局、その年配の方々は、みんな施設の方のお迎えで退院し、メンバーは総入れ替。

すぐに若返ったメンバーで満室になった。

やがて、カーテンの向こうで、授乳する音が聞

こえた。その可愛い赤ちゃんの泣き声、優しいお母さんの語りかける声に、20年余り前の我が子の事を思い出した。授乳室の匂いや音、柔らかい幸せな母子の時間だった事が蘇った。10日間の入院は、日頃の家事から解放され、ゆっくりと考える時間を与えられた。

主人や大学生の娘は何回も面会に来てくれた。中学生の息子は、一度も現れなかった。

退院直後、私が2Fに居た時、風でドアがバタンと大きな音を立てて閉まった。と同時に、息子が血相を変えて階段を駆け上がってきた。「どうした?」と聞くと「母さんが倒れたかと思った!」と言う。実は息子なりに母を心配してくれているようだ。

家族や周りの方々の支えを再確認でき、感謝でいっぱい。

外部の方からの投稿です

O que sera, será, será ♪なるようになる♪

事務局 M・O

約15年ぶりにスケートに行ってきました。冬季オリンピックで羽生選手が金メダルを獲得したまさに翌日だったため、リンクは人で溢れてすし詰め状態でした。

久しぶりとはいえ少し位は滑れるだろうと思っていたのに、スケート靴を履いて立ち上がった瞬間「あ、無理だわコレ」と悟りました。なんと氷の上でもないのに転んでしまったのです。

あのスケート靴を履くと、バランスを取るのさえも意外と難しいんですね！（私が運動神経が悪いだけ）

練習の結果、2時間後には必死に手すりを掴みながら滑れる位に上達(?)しました。頭の中でなら、羽生くんや真央ちゃんみたいに美しく滑れているんだけど、おかしいなあ..(^ ^;)